

AI 議事録ツールの導入による業務効率化への取組

医療・介護の現場では、法令や制度に基づき、各種委員会や会議の開催、記録の作成・保管が求められます。特に加算取得や法令遵守の観点からも、議事録は施設運営において非常に重要な記録です。

これまで当院では、会議や委員会に参加した職員の一人が議事録担当となり、会議中に紙へメモを取ったり、ICレコーダーで録音した音声を後から聞き直したりしながら議事録を作成していました。しかし、正確な記録を残すためには担当者の経験やスキルに左右される面があり、記録の質にばらつきが生じることもありました。また、議事録担当者はメモを取ることに集中せざるを得ず、会議そのものに十分参加しにくいという課題もありました。

こうした中、議事録作成に相当な時間を要していた経験から、「より効率的で正確な記録方法はないか」と検討を始めました。調査を進める中で、AIを活用した議事録作成により記録時間を大幅に短縮できることを知り、AI議事録ツールを導入しました。

【導入した機器】

自動議事録 AI「YOMEL」

会議やカンファレンスの音声を自動で文字起こしし、要約まで行う AI 議事録ツール。

導入後の効果として、議事録作成時間は大幅に短縮されました。例えば、当院では毎朝 20 分程度、各部署の長が集まる朝礼を行っていますが、導入前は記録作成に約 40 分を要していました。導入後は約 5 分程度で記録をまとめることができるようになり、担当者の負担が大きく軽減されました。

議事録作成にかかる時間が短縮されたことで、職員が日常業務にゆとりを持てるようになり、これまで記録作成に費やしていた時間を別の業務に充てることができるようになりました。結果として、業務全体の生産性向上にもつながっています。



23(火) 52:27 川野由智 生産性向上委員会 ✕ タグを追加...

文字サイズ 小 大 このページ... AIチャット

AI要約 契約の再実行 エディタに転記 コピー エディタ Word出力 クリップボードコピー

アジェンダと進行

- 今年度研修計画（年4回）の進捗と今後のスケジュールについて 00:15 - 02:16
- 第2回研修（8月）の内容検討：歯科衛生士・青木さんによる口腔ケア研修 00:31 - 10:59
- 認知症研修の内容検討と候補について 02:47 - 03:54
- 病院・介護事業所間の情報共有シートの見直しについて 16:26 - 17:37
- 研修形式（集合型・オンライン）と運営方法について 13:18 - 24:34
- 委託業務の範囲と連絡体制の確認 42:50

議論トピックと要点

- 今年度の研修計画（年4回）

カスタム要約

◎ 今年度研修計画および連携体制に関する打ち合わせ

会議基本情報

- 目的: 今年度の地域連携会議（年4回）の計画、および関連する事業所間連携の課題について協議する。
- 日時: 2026-06-23 09:53:45
- 場所: グリーンケアやまが
- 参加者: 医療介護連携課3名、山口看護部長、川野
- 会議形式: 対面

アジェンダと進行

1. 今年度研修計画（年4回）の進捗と今後のスケジュールについて
2. 第2回研修（8月）の内容検討：歯科衛生士・青木さんによる口腔ケア研修
3. 認知症研修の内容検討と候補について
4. 病院・介護事業所間の情報共有シートの見直しについて
5. 研修形式（集合型・オンライン）と運営方法について
6. 委託業務の範囲と連絡体制の確認

現在 2493 文字

当院では主に事務室の職員を中心に、10 名程度のスタッフが AI 議事録ツールを活用しています。20 名以上が参加する大規模な会議ではマイクスピーカーを複数台使用して録音し、10 名程度の少人数の会議では、タブレットやスマートフォンを会議室のテーブルに置いて録音を開始するなど、会議の規模や環境に応じて活用しています。



【今後の展開について】

今後は、会議や委員会の記録だけでなく、患者さま等からの理不尽な要求や著しい迷惑行為への対応記録など、カスタマーハラスメント対策の一環としても活用を検討しています。録音だけでなく内容を要約できるため、後から状況を確認しやすく、正確な記録の保存に役立つことが期待されます。